



平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年11月9日 東

上場会社名 株式会社コンテック 上場取引所  
 コード番号 6639 URL http://www.contec.co.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藤木 勝敏  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 専務執行役員 (氏名) 藤井 貢 (TEL) 06-6472-7130  
 四半期報告書提出予定日 平成27年11月11日 配当支払開始予定日 平成27年12月1日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績(平成27年4月1日~平成27年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	11,851	7.8	105	△68.9	88	△74.3	239	△56.8
27年3月期第2四半期	10,991	11.6	337	246.2	343	199.0	555	880.7

(注) 包括利益 28年3月期第2四半期 185百万円(△44.0%) 27年3月期第2四半期 330百万円(△34.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	36.35	—
27年3月期第2四半期	84.16	—

(注) 平成27年1月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第2四半期	19,276	8,551	43.6
27年3月期	18,907	8,449	44.0

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 8,409百万円 27年3月期 8,325百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	15.00	—	12.50	—
28年3月期	—	10.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

27年3月期期末配当金の内訳 普通配当 10円00銭 記念配当 2円50銭

平成27年1月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。平成27年3月期末及び平成28年3月期(予想)の1株当たり配当額につきましては、株式分割後の額を記載しております。

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日~平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	23,500	4.4	650	△12.9	650	△16.0	550	△34.9

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 、除外 1社(社名) 株式会社コンテック・イーエムエス

(注) 詳細は、添付資料3ページ「(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無  
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年3月期2Q	6,600,000株	27年3月期	6,600,000株
② 期末自己株式数	28年3月期2Q	308株	27年3月期	308株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年3月期2Q	6,599,692株	27年3月期2Q	6,599,814株

(注) 平成27年1月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、発行済株式数(普通株式)を算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(平成27年4月1日～平成27年9月30日)におけるわが国経済は、企業収益の改善を背景として緩やかな回復基調で推移いたしました。中国をはじめとする新興国経済の減速及び世界的なIT関連需要の減速による影響を受けるなど、先行きは不透明な状況となっております。

当社におきましては、IT関連需要が減速している影響を受けて、国内での産業用コンピュータ製品、計測制御製品、ネットワーク製品の販売が伸び悩んだことに加え、太陽光発電計測システムなどのソリューション製品の販売が減少いたしました。一方、EMS製品(物流システム用制御機器の受託生産)の販売は好調に推移しております。また、米国市場におきましては、製造業の景況感に弱さが見られたものの、医療機器業界向けの産業用コンピュータの販売は堅調に推移いたしました。

この結果、当社グループの売上高は11,851百万円(前年同期比7.8%増)となりました。利益面につきましては、円安に伴う仕入れコスト上昇に加え、将来の事業拡大に向けた積極的な投資としてIoT市場向け電子機器製品「CONPROSYS(コンプロシス)」の研究開発費が増加し、営業利益は105百万円(同68.9%減)、経常利益は88百万円(同74.3%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は239百万円(同56.8%減)となりました。

なお、第1四半期連結会計期間より、当社グループは単一セグメントに変更したため、セグメント別の記載を省略しております。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ①資産、負債及び純資産の状況

資産は19,276百万円となり、前連結会計年度末に比べ368百万円増加いたしました。これは主に棚卸資産の増加662百万円、現金及び預金の増加613百万円、売上債権の減少614百万円、投資有価証券の減少269百万円によるものであります。

負債は10,724百万円となり、前連結会計年度末に比べ265百万円増加いたしました。これは主に仕入債務の増加820百万円、その他流動負債の減少314百万円、借入金の減少127百万円、未払法人税等の減少103百万円によるものであります。

純資産は8,551百万円となり、前連結会計年度末に比べ102百万円増加いたしました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による利益剰余金の増加157百万円、為替換算調整勘定の増加90百万円、非支配株主持分の増加19百万円、その他有価証券評価差額金の減少173百万円によるものであります。

#### ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、3,677百万円となり、前年同四半期連結会計期間末に比べ706百万円増加いたしました。

##### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により増加した資金は607百万円となりました。主な内訳は、税金等調整前四半期純利益426百万円、仕入債務の増加による795百万円の収入、売上債権の減少による642百万円の収入、棚卸資産の増加による632百万円の支出、投資有価証券売却益341百万円、法人税等の支払いによる206百万円の支出であります。

##### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により増加した資金は209百万円となりました。主な内訳は、投資有価証券売却による353百万円の収入、固定資産取得による150百万円の支出であります。

##### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により減少した資金は221百万円となりました。主な内訳は、借入金の返済による130百万円の支出、配当金の支払による83百万円の支出であります。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間における業績の進捗等を勘案し、業績予想の見直しを行った結果、平成27年5月13日に公表しました平成28年3月期の通期連結業績予想を修正しております。

詳細につきましては、本日公表しております「平成28年3月期第2四半期累計期間の業績予想値と実績値との差異及び通期業績予想の修正並びに中期経営計画の見直しに関するお知らせ」をご覧ください。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当社は、平成27年4月1日付で当社を存続会社、当社の連結子会社であった株式会社コンテック・イーエムエスを消滅会社とする吸収合併を実施したことにより、株式会社コンテック・イーエムエスは消滅し、連結の範囲から除外しております。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、  
「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)及び  
「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)  
等を、第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額  
を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更い  
たしました。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定  
による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方  
法に変更いたします。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更  
を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、  
四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び  
事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点  
から将来にわたって適用しております。

なお、当第2四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響額はあります。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,063,598	3,677,476
受取手形及び売掛金	4,951,306	4,336,378
商品及び製品	2,126,679	2,224,027
仕掛品	959,325	1,009,111
原材料及び貯蔵品	1,703,212	2,218,234
繰延税金資産	276,711	206,334
その他	157,348	167,540
貸倒引当金	△7,369	△8,038
流動資産合計	13,230,812	13,831,065
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	852,167	875,905
機械装置及び運搬具(純額)	36,903	31,050
工具、器具及び備品(純額)	129,015	140,813
土地	1,389,919	1,389,919
リース資産(純額)	44,224	36,006
建設仮勘定	1,677	1,573
有形固定資産合計	2,453,908	2,475,269
無形固定資産		
のれん	1,898,331	1,854,904
ソフトウェア	135,953	258,451
その他	142,100	23,221
無形固定資産合計	2,176,384	2,136,576
投資その他の資産		
投資有価証券	646,536	377,527
繰延税金資産	23,194	57,873
退職給付に係る資産	283,055	313,947
その他	93,933	83,926
投資その他の資産合計	1,046,720	833,274
固定資産合計	5,677,013	5,445,121
資産合計	18,907,825	19,276,186

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,563,601	4,384,444
短期借入金	650,279	652,497
1年内返済予定の長期借入金	1,060,000	1,160,000
リース債務	15,745	15,055
未払法人税等	200,921	97,533
その他	1,022,645	708,358
流動負債合計	6,513,193	7,017,888
固定負債		
長期借入金	3,130,000	2,900,000
リース債務	28,662	21,134
繰延税金負債	51,493	2,346
退職給付に係る負債	641,881	677,715
その他	93,546	105,249
固定負債合計	3,945,583	3,706,446
負債合計	10,458,777	10,724,335
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,119,600	1,119,600
資本剰余金	669,600	669,600
利益剰余金	5,078,110	5,235,495
自己株式	△216	△216
株主資本合計	6,867,094	7,024,479
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	388,298	214,790
繰延ヘッジ損益	3,241	△501
為替換算調整勘定	1,064,974	1,155,744
退職給付に係る調整累計額	2,194	14,907
その他の包括利益累計額合計	1,458,709	1,384,941
非支配株主持分	123,244	142,430
純資産合計	8,449,048	8,551,851
負債純資産合計	18,907,825	19,276,186

## (2) 四半期連結損益及び包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	10,991,036	11,851,088
売上原価	8,298,320	9,136,071
売上総利益	2,692,715	2,715,017
販売費及び一般管理費		
販売費	1,257,166	1,432,017
一般管理費	1,097,733	1,177,778
販売費及び一般管理費合計	2,354,900	2,609,796
営業利益	337,815	105,221
営業外収益		
受取利息	915	1,134
受取配当金	9,610	13,137
為替差益	5,725	-
受取賃貸料	12,075	6,733
保険解約返戻金	-	5,540
その他	6,025	2,274
営業外収益合計	34,353	28,820
営業外費用		
支払利息	26,386	23,609
為替差損	-	12,475
外国源泉税	-	8,378
その他	2,170	1,240
営業外費用合計	28,556	45,703
経常利益	343,612	88,337
特別利益		
投資有価証券売却益	300,711	341,110
固定資産売却益	150,084	-
その他	9,209	-
特別利益合計	460,005	341,110
特別損失		
固定資産除却損	1,966	1,605
関係会社整理損	94,594	-
その他の投資評価損	-	1,835
特別損失合計	96,561	3,441
税金等調整前四半期純利益	707,056	426,007
法人税、住民税及び事業税	160,767	102,660
法人税等調整額	△18,545	66,552
法人税等合計	142,221	169,213
四半期純利益	564,834	256,794
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	555,413	239,881
非支配株主に帰属する四半期純利益	9,420	16,912

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△122,605	△173,508
繰延ヘッジ損益	-	△3,743
為替換算調整勘定	△140,966	93,043
退職給付に係る調整額	29,723	12,712
その他の包括利益合計	△233,848	△71,495
四半期包括利益	330,985	185,298
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	327,058	166,112
非支配株主に係る四半期包括利益	3,927	19,185

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	(単位：千円)	
	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	707,056	426,007
減価償却費	115,241	134,210
のれん償却額	59,805	72,996
貸倒引当金の増減額(△は減少)	933	540
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	6,930	23,698
受取利息及び受取配当金	△10,526	△14,272
支払利息	26,386	23,609
為替差損益(△は益)	△12,602	15,668
投資有価証券売却損益(△は益)	△300,711	△341,110
有形固定資産売却損益(△は益)	△150,084	-
有形固定資産除却損	1,966	1,605
関係会社整理損	94,594	-
売上債権の増減額(△は増加)	△65,389	642,222
たな卸資産の増減額(△は増加)	△747,276	△632,661
仕入債務の増減額(△は減少)	515,597	795,212
その他	△244,798	△323,786
小計	△2,875	823,940
利息及び配当金の受取額	10,527	14,306
利息の支払額	△25,907	△24,197
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△81,102	△206,569
営業活動によるキャッシュ・フロー	△99,359	607,480
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△84,335	△108,072
有形固定資産の売却による収入	177,453	-
無形固定資産の取得による支出	△36,282	△42,897
無形固定資産の売却による収入	4,078	-
投資有価証券の売却による収入	467,885	353,930
関係会社株式の取得による支出	△15,689	-
短期貸付金の純増減額(△は増加)	△5,709	109
その他	△2,409	6,382
投資活動によるキャッシュ・フロー	504,992	209,452
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△250,000	-
長期借入金の返済による支出	△130,000	△130,000
配当金の支払額	△49,041	△83,430
リース債務の返済による支出	△10,428	△8,218
財務活動によるキャッシュ・フロー	△439,469	△221,648
現金及び現金同等物に係る換算差額	△25,207	18,593
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△59,044	613,877
現金及び現金同等物の期首残高	3,029,989	3,063,598
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,970,945	3,677,476

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)  
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損益 及び包括利益 計算書計上額 (注)2
	電子機器事業	EMS事業	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	7,326,343	3,664,692	10,991,036	—	10,991,036
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,310,604	2,751,488	4,062,093	△4,062,093	—
計	8,636,948	6,416,180	15,053,129	△4,062,093	10,991,036
セグメント利益	143,909	257,094	401,003	△63,187	337,815

(注) 1 セグメント利益の調整額△63,187千円は、棚卸資産の調整額△65,347千円及びセグメント間取引消去2,160千円が含まれております。

2 セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年9月30日)

当社グループは「電子機器事業」の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(報告セグメントの変更等に関する事項)

前連結会計年度までの当社グループの報告セグメントは、会社単位別の事業セグメントを、製品・サービス別に「電子機器事業」及び「EMS事業」として集約し報告しておりました。

平成27年4月1日に「EMS事業」を担っていた株式会社コンテック・イーエムエスを吸収合併したことに伴い、当社グループの事業展開、経営資源の配分の決定及び業績評価の実態等から報告セグメントについて再考した結果、当社グループは、全体の事業を「電子機器事業」に統合して捉えることがより合理的と判断いたしました。

この変更により、当社グループは「電子機器事業」の単一セグメントとなることから、第1四半期連結会計期間よりセグメント情報の記載を省略しております。